

2019年1月17日
株式会社日立製作所
執行役社長兼 CEO 東原敏昭

英国原子力発電所建設プロジェクトの凍結について (説明会における冒頭挨拶(要旨))

日立は、本日開催した取締役会において、首記プロジェクト(以下、ホライズンプロジェクト)の凍結を決定しました。

ホライズンプロジェクトは、2012年に日立が英国ホライズン社を買収、日本で建設・運転実績のある原子炉(ABWR^{*1}:改良型沸騰水型原子炉)をベースに、規制やコストなど英国の環境に適合した ABWR 2 基を用いた原子力発電所を建設し、CO₂を排出しないクリーンエネルギーの供給を図るべく、最大限の努力を重ねてきました。

2017年には、英国の規制当局から包括的設計審査(GDA^{*2})の認可を取得したことで、英国版の ABWR が技術的に認められました。これを受け、2018年には、英国政府との間で、資金調達モデルに関する協議を本格化しました。

この間、英国政府からさまざまなご支援やご提案をいただき、さらに、日本政府からもご協力を頂戴したことに、深く感謝を申し上げます。

しかしながら、資金調達モデルなどの諸条件について合意に至るには、想定以上の時間を要すると判断し、今回、民間企業としての経済合理性の観点から、ホライズンプロジェクトの凍結を決定しました。

日立全社としては、これまで取り組んできたさまざまな施策により、着実に利益を生み出すことのできる体力がついてきました。「2018 中期経営計画」で掲げた調整後営業利益率 8%については、引き続き達成に向けて努力しています。

また、現時点では 2018 年度の親会社株主に帰属する当期利益は黒字の見通しであり、財務の健全性も引き続き担保されています。

日立は、今後もさらなる成長に向けた施策を加速してまいります。

*1 Advanced Boiling Water Reactor

*2 Generic Design Assessment

以上